

中小企業DX化継続支援事業 2026年4月~2027年3月実施予定 (静岡県産業振興財団)

<事業計画申請時>

【課題】

・主に製造現場向けの支援メニューを実施してきたが、部分的な業務改善・生産性向上に留まるケースが見受けられるため、会社全体として取り組む「中小企業DX化支援事業」にて伴走支援し、DX戦略書とITベンダーへの提案依頼書(RFP)まで策定。
 ・しかし、企業はそこで終わりではない。全社的なDX化を実現するためには実装に向けてその先の段階的な作業を行う必要がある。

【目的】

・具体的な作業内容は「ITベンダーの選定、現場ヒアリング・設計、開発、テスト導入、運用定着、データ活用等」のプロジェクト管理に取り組まなければならないが、システム開発導入の専門家ではない企業担当者だけではITベンダー任せとなり、そのITベンダーは企業現場の専門家ではないために抜け漏れなどの不具合が生じ、期待通りの最適なシステム開発導入とはならず、「使い勝手が悪い⇒使えない⇒使わない」という最悪のケースに陥るケースは少なくない。
 ・そこで継続して伴走支援を行い、中小企業のDX化実現を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】
 R7よりスタートした県補助事業である「中小企業DX化支援事業」の継続フォロー支援事業である。

☑地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェックしてください。

【本事業の内容】

業務改善・生産性向上に資する支援事業

<部分最適：主に製造現場の業務改善>

専門家派遣
 (県補助事業)
 生産性向上の分野

ものづくりスクール
 (県補助事業)
 製造現場改善リーダー育成講座

IoT大学連携講座
 (県補助事業)
 製造現場でのラズパイ等デジタル技術導入による見える化、遠隔監視化

【成果目標】

- ▶直接的成果目標
- ・事業実施企業数 5社
 - ・デジタル化・DX化推進への継続的な取組企業 2社
 - ・DX化の実装実現 2社

<全体最適：バックオフィス・フロントも含めた全社的な業務改善、デジタルトランスフォーメーション>

1年目 (R7)

中小企業DX化支援事業 (県補助事業)
 (伴走支援)
 業種・企業規模・デジタル化の進捗度・全社的な展開可能性により採択した5社にDX推進アドバイザーを派遣。DX戦略書とITベンダーへの提案依頼書(RFP)を策定。

2年目 (R8全国協会補助事業：A事業②)

中小企業DX化継続支援事業
 (継続伴走支援)
 実装に向けての取組に関し、プロジェクト管理フォロー支援。
 「ベンダー選定、ヒアリング・設計、開発、テスト導入、運用定着等」

【波及効果の目標】

- ・県内中小企業の多くが部分的なIT導入・デジタル化(部分最適)に留まっている状況を、全社的な取組であるDX化(全体最適)のモデル事例を増やし、生産性や収益力向上を実現する企業を増やしていく。

<継続伴走支援 プロジェクト管理フォロー (想定)>

助言・アドバイスの範囲を超えて企業サイドに寄り添っての共同作業等による伴走支援 (派遣回数上限15回/1社あたり)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内容		ベンダー選定		ヒアリング・設計			開発			テスト導入		運用定着等	
派遣回数		2	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	15
ヒナ											●		

支援先企業はシステム導入費用について自己資金、又は右記支援メニュー等を活用予定

IT導入補助金
 (国)

収益力向上補助金
 (県)
 DX枠

～ モデル事例を創出し、横展開。将来的にDX支援プラットフォーム構築 ～

【将来の支援目標】

- ・デジタルツールを活用することにより、今まで抽出できていなかった各種データを利活用してBIツールとして経営層は経営判断できるようになり、顧客視点の新たな価値創出のようなイノベーションを起こすことにより売上や利益を伸ばし、長期的には中堅企業(100億円)を創出していく。